

授業科目名		建学の精神				科目コード	E1001
担当者		古澤 敏昭 / 和田 宗汎 / 近藤 貞子 ほか				履修区分	必修
開講年次	1 年	開講期	前期	授業回数	15 回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)							
[古澤 敏昭(5 回)]「心技一体」とは、知識及び技術・技能は勿論、精神的にも豊かで健全なる身体を備え、心・技・体が一体となって成長することにより、三位渾然とした幅広い知識と能力、博愛精神・人間愛に満ちた慈愛を持ち、協力し創造する喜びと感動を求めて努力を惜しまない人材となりうることを学ぶ。							
[和田 宗汎(4 回)(茶道(さどう))]誰でも持っている優しい心づかい、感動する心、そうした心をより豊かに育み、人間としての感性を大切に自分を高めていくことを目的として、広島で四百年近くその道統が守り伝えられている上田宗箇流茶道を通じて、茶の湯の心の在り方、その作法を学ぶ。							
[近藤 貞子(3 回)(華道)]伝統文化として代々受け継がれてきた華道を通して、自然の中で育まれている植物を観察し出生を知り、歴代宗匠の教の中から和の精神を学ぶ。							
(到達目標)より良い技術とは技術力のみではなく、それを用いる人とその健康な体が調和されて社会にとって貢献しうる技術となることを体系的に理解し、説明することができる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
各教員によって授業形態が異なり、「茶道」および「華道」については少人数での実施が望ましいため、クラス編成をした上での授業となります。詳細は別途指示します。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						担当者
1	本質のとらえ方；・本質のとらえ方の体験学習・考え方のポイント(本質とは／中心とは／最重要とは)						古澤 敏昭
2	問題点の発見と手法 ； ・各種の手法と考え方						古澤 敏昭
3	問題点のとらえ方 ； ・現状分析 ・あるべき姿(仮説の設定)						古澤 敏昭
4	・問題点の指摘(あるべき姿と現状分析によるギャップ)						古澤 敏昭
5	・改善方法により「ムダ・ムリ・ムラ」を意識する						古澤 敏昭
6	問題を改善するのは人である；・精神状態、考え方・生産性とは(精神状態／ヨーロッパ生産性機構)						古澤 敏昭
7	人間は考え方により行動がある ； ・人間性とは／社会貢献とは／創造とは／豊かな心とは／幸とは						古澤 敏昭
8	人間関係／コミュニケーション；・報告、連絡、相談(ホウ、レン、ソウ)・調和、啓発、創造・組織とは						古澤 敏昭
9	いけ花の成立						近藤 貞子
10	華道が伝統文化(生活文化)として受継いできたもの						近藤 貞子
11	現代の生活環境といけ花						近藤 貞子
12	はじめに 茶道について 茶の湯の心 人への思いやり もてなしの心と工夫・知恵 お茶の効用						和田 宗汎
13	茶道とのふれあい 茶室での立ち居振る舞い 基本姿勢 あいさつ 客の心構え・作法 もてなす側の心配り						和田 宗汎
14	席入り 客作法 お茶を点てる 点て出し作法 お菓子・お茶をいただく						和田 宗汎
15	まとめ お茶会を開く お茶会に参加する						和田 宗汎
成績評価方法							
レポート 50% 小テスト 50%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
【和田・高宮】希望者には和風堂の見学をお勧めします(要予約)。※授業(茶道)の際には必ず白のソックスを持参する事。							
【近藤】植物をよく観察すること。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							

授業科目名		ヒロシマのこころ				科目コード	E1002
担当者		古澤 敏昭 / 佛圓 弘修・二宮 孝司				履修区分	必修
開講年次	1年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)							
平和とは何か、現在の国際社会において平和の大切さ、難しさを学び、一人ひとりが何をしなければならないかを考え、平和な心と豊かな人間性の大切さを学修する。真の恒久平和は、武力ではなく平和的手段によって、日常生活での地道な実践の積み重ねから実現できるもの。「平和をつくる」ことの意義と具体的方法論について核被爆の実相と「ヒロシマのこころ」に照らしながら考察する。							
(到達目標)							
①「原爆被災の実相」(物理・医学・人道的)の正確な理解							
②「ヒロシマのこころ」(被爆者の心情・核廃絶への決意)の継承と実践							
③「平和を創る」という意識の向上と日常生活での実践、並びに「建学の精神」の体現							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業の妨げになるので私語は禁止。配布のレジメと資料を中心に講義を進める。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	「建学の精神」の体現①					古澤 敏昭	
2	「建学の精神」の体現②					古澤 敏昭	
3	オリエンテーション (授業の概要や授業計画、評価方法等の説明)					佛圓 弘修・二宮 孝司	
4	広島県・市における平和教育(小学校実践・「へいわノート」の活用)					佛圓 弘修・二宮 孝司	
5	ヒロシマの文学とその周辺					佛圓 弘修・二宮 孝司	
6	見学の観点・解説と計画立案					佛圓 弘修・二宮 孝司	
7	フィールドワーク①(平和記念資料館見学と碑めぐり・被爆樹めぐり)					佛圓 弘修・二宮 孝司	
8	フィールドワーク②(平和記念資料館見学と碑めぐり・被爆樹めぐり)					佛圓 弘修・二宮 孝司	
9	フィールドワーク③(平和記念資料館見学と碑めぐり・被爆樹めぐり)					佛圓 弘修・二宮 孝司	
10	フィールドワーク④(平和記念資料館見学と碑めぐり・被爆樹めぐり)					佛圓 弘修・二宮 孝司	
11	見学のまとめとプレゼンテーション					佛圓 弘修・二宮 孝司	
12	「原爆被災の実相」「核兵器を巡る今日の状況」の理解					佛圓 弘修・二宮 孝司	
13	「平和を創る」行動化(「ヒロシマ」から「ひろしま」へ)					佛圓 弘修・二宮 孝司	
14	「平和を創る」行動化(指導案をつくってみよう)					佛圓 弘修・二宮 孝司	
15	これからの平和教育実践に求められる資質・能力					佛圓 弘修・二宮 孝司	
成績評価方法							
授業内で記入するコメントシート 60%、討論や観察の内容と主体的なかかわり 40% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
広島市平和教育プログラム/へいわノート		広島市教育委員会		株式会社中本本店		広 X3-2012	
広島県教育資料		広島県教育委員会					
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
授業での課題等をはじめ、平和問題について日常生活でも疑問を感じたら、そのままにはせず、どのように考えるべきかを探究していきましょう。そのうえで、他者と議論をすることで自分の考えをさらに深めましょう。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
直接研究室を訪ねるか、担当教員もしくは事務を通してメール等で連絡してください。							

授業科目名	法と人権(憲法を含む)					科目コード	E12105
担当者	大田 晋					履修区分	必修
開講年次	1年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 我われは、社会に生きている限り何らかのルールの中で生きている。そのルールこそが「法」であり、共通の約束事である。 「人権」という「人としての権利、個人としての権利」を保障するための基本となる法は「憲法」である。講義では、はじめに法全般におけるものの考え方、体系、法および法律の基礎知識を学び、次にそれらの理解と知識のもとに、法体系の最高位にあって「人権＝基本的人権」を規定している「憲法」を詳しく学ぶ。							
(到達目標) 子どもの保育や教育にたずさわる者は、人としての優しさはもちろんのこと、良き国民としての「教養」を持つことが求められる。「教養」の一つとして社会のルールである憲法をはじめとするわが国の法全体の理解と知識を修得し、子どもの育成に貢献できる専門職に近づくことを目指す。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
私語と欠席は厳禁。配布する講義レジュメプリントをもとに自分でノートを作成することを履修・受講の条件とする。 初回講義に A4 サイズ(40 枚)のノートを準備すること。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	講義のイントロ(講義の概要、講義の狙いと目標、講義の進め方、ノートの作り方など)						
2	「法」とはなにか～法の意味・役割、法と社会・国家、法と人権						
3	法の分類と体系						
4	法と社会(国民生活)						
5	刑法						
6	民法						
7	憲法～概要、意味						
8	憲法～制定の歴史						
9	憲法～国民主権						
10	憲法～基本的人権(その1)						
11	憲法～基本的人権(その2)						
12	憲法～基本的人権(その3)						
13	憲法～平和主義(戦争放棄)						
14	憲法～国家統治機構(その1)						
15	憲法～国家統治機構(その2)						
成績評価方法							
期末試験 90%、授業への取り組み姿勢 10% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
『日本国憲法』条文集				童話屋		978-4-88747-014-9	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
『医療・福祉を学ぶ人のための法学入門』		久塚純一ほか		法律文化社		978-4-589-03413-7	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
ノート作成と復習が極めて重要である。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
講義修了後、個別に質問を受ける。							

授業科目名		コミュニケーション技法(複数教員担当制)				科目コード	E1003
担 当 者		古澤 敏昭 ほかに子ども教育学科専任教員				履 修 区 分	必修
開 講 年 次	1・2 年	開 講 期	前期	実 施 日	集中	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標							
(概 要)							
「心技一体」という建学の精神に則り、学部・学科の教育目標・教育内容について理解する。一人の人間としての豊かな人生を送るために、日本人としての基本的な生活習慣や幅広い人間関係を形成することを目的とし、3日間の体験活動やグループ活動等による授業を通して、共同生活に適応し、友情や人間関係を深め、自己表現などコミュニケーション能力の基礎を身につけ、本学学生としての自覚と責任を持ち、学生相互及び学生と教員間での豊かな人間関係を形成する。							
(概 要)							
①大学生としてのモラルの向上や自己実現を図るための学習姿勢を身につけることができる。							
②ディスカッション等において、積極的にわかりやすく意見を述べることができる。							
③グループメンバーの意見を尊重し、円滑なチームワークづくりに貢献できる。							
④本授業での学びを考察し、他者に意見を論理的に述べることができる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
・年1回の集中講義(3日間の体験活動・グループ活動と事前準備・事後の振り返りによる授業)になります。1年次と2年次において、事前準備及び事後の振り返り(全体の1/3回)の参加と3日間の体験活動・グループ活動(全体の2/3回)の参加により単位認定となります。							
・集団研修において、個人の自己中心的な行動は同じグループメンバーや全体への迷惑になります。							
・研修施設では他団体の方も宿泊しています。他団体の方へ迷惑となるような行為は慎んで下さい。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講 義 内 容 (1年次)			回数	講 義 内 容 (2年次)		
1	○大学における事前の準備、事後の振り返りとして 全体の1/3回を課す			16	○大学における事前の準備、事後の振り返りとして 全体の1/3回を課す		
2				17			
3				18			
4				19			
5				20			
6	○3日間の体験活動・グループ活動等の研修として 全体の2/3回を課す			21	○3日間の体験活動・グループ活動等の研修として 全体の2/3回を課す		
7				22			
8				23			
9				24			
10				25			
11				26			
12				27			
13				28			
14				29			
15				30			
成 績 評 価 方 法							
※事前準備の際、説明します。							
教 科 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBNコード	
特になし							
参 考 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBNコード	
特になし							
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
※事前準備の際、説明します。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
※事前準備の際、説明します。							

授業科目名		学びのベーシック（1）				科目コード	E1004
担当者		森下 真実・吉原 直樹				履修区分	必修
開講年次	1年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
（概要） 大学生としての自覚や倫理観を理解するとともに、学士（教育学）を修得するための学習方法を学ぶ。また、実際に保育園、幼稚園、小学校を訪問し、それぞれの職を観察・体験し、保育士、幼稚園教諭、小学校教諭の仕事を理解し、保育園、幼稚園、小学校等を目指す学生としてのよりよい大学生活を創造する基礎を養う。							
（到達目標） 1 授業のモラルや聴講の意義と方法、学習方法を習得する。 2 保育園、幼稚園、小学校における職務を理解する。							
履修における注意事項（受講ルールなど）							
生涯にわたって学習していくことの大切さを感じ得る資質の形成を図ること。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	これまでの自分を振り返る						
2	原稿用紙の使い方						
3	「これまでの自分を振り返る」プレゼンテーション						
4	大学生活の目的（授業のモラルを含む）聴講の意義と方法（板書、資料の扱い方、講義ノートについて）						
5	実習について①（保幼小の実習）						
6	実習について②（フィールド体験にあたっての心構え、観察の方法）						
7	保育士の実際						
8	幼稚園教諭の実際						
9	小学校教諭の実際						
10	保育職、教職の実際						
11	保育職、教職の仕事について						
12	フィールドの振り返り						
13	プレゼンテーションの方法						
14	保幼小に関する交流・発表（1）						
15	保幼小に関する交流・発表（2）						
成績評価方法							
授業の提出物 50％ プレゼンテーション 50％ ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど） 使用テキストは、ありません。適宜資料を配布しますので、ファイリングすること。 身近な子どもの姿をとらえ、子ども理解をするとともに、将来の教職、保育職について考察すること。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							

授業科目名		学びのベーシック(2)				科目コード	E1005
担当者		権田 あずさ/ 1年チューター				履修区分	必修
開講年次	1年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)							
大学生としての学びを充実させるために、効果的な学習方法を知り、アカデミックライティングによるレポート作成の方法を学ぶ。							
(到達目標)							
1. 探究的に学ぶための効果的な学習方法や、アカデミックライティングによるレポート作成の方法を身につける。							
2. アカデミックライティングによって、レポートを作成することができる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
・各自、パソコンに Word をインストールし、メールアドレスを取得しておいてください。レポートは Word を使用して作成し、メールに添付する形で提出してもらいます。ロイロノートを使用することもあります。							
・第9回から第14回は、チューターごとに分かれて行います。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	ガイダンス(授業の概要、授業の目標、評価の方法など)					権田 あずさ	
2	レポートとは(他の文章との違い、種類、特徴、レポートの構成など)					権田 あずさ	
3	パラグラフの構成・アウトラインの作成・論理的な思考					権田 あずさ	
4	パラグラフのつながり／レポート作成のために(剽窃とは、引用の方法など)					権田 あずさ	
5	効果的な読みのために(本・論文の探し方、読み方、要約など)					権田 あずさ	
6	レポート作成のために(マインドマップなどの活用)／文章診断(構成・パラグラフに関して)					権田 あずさ	
7	レポート作成のために(アウトラインの作成)／文章診断(文に関して)					権田 あずさ	
8	文章診断(文法・語に関して)					権田 あずさ	
9	文章診断の具体的手順／後半のガイダンス					1年チューター	
10	文章診断1回目(グループごとに)					1年チューター	
11	文章診断2回目(グループごとに)					1年チューター	
12	文章診断3回目(グループごとに)					1年チューター	
13	文章診断4回目(グループごとに)					1年チューター	
14	文章診断5回目／レポートのリライト					1年チューター	
15	学びのふりかえりとまとめ					権田 あずさ	
成績評価方法							
授業の提出物 40% レポート 60%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
レポート・論文をさらによくする「書き直し」ガイド		佐渡島沙織・坂本麻裕子・大野真澄 編著		大修館書店		978-4-469-22244-9	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
この1冊できちんと書ける! 論文・レポートの基本		石黒 圭		日本実業出版社		978-4-534-04927-8	
新版 論文の教室 レポートから卒論まで		戸田山和久		NHK 出版		978-4-14-091194-5	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
・参考書籍は図書館にあります。積極的に活用しましょう。							
・レポート作成に必要な文献も、各自、図書館で借りてください。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							

授業科目名		ビブリオバトル入門				科目コード	E1006
担当者		丸岡 清枝				履修区分	選択
開講年次	1年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要)							
ビブリオバトルという書評ゲームをきっかけとして、読み込む、紹介する力を身につけていきます。							
実際にビブリオバトルを行い、プレゼンテーション能力や企画することを経験することによって、本の世界を楽しむきっかけを子どもたちに提供できることを目指します。							
(到達目標)							
1. 自分の関心分野だけでなく、他の受講生の紹介する書籍に触れることによって、様々な分野に関心を持つ。							
2. ビブリオバトルを通じて、コミュニケーション能力など、自分の意見を伝える力を身につける。							
3. ビブリオバトルを企画・実施することを通じて、運営する時の準備や会議など必要な「動き」は何かを考える。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
1. 授業中は携帯電話やスマートフォンなどを見ない・使用しないこと。但し、電子書籍等を紹介する場合を除く。							
2. 授業中の私語は禁止ですが、ディスカッションの時は積極的な発言をお願いします。							
3. 日常的に本を読むようにしてください。読書対象のジャンルは問いませんが、マンガばかりにならないよう注意してください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	ガイダンス(授業の進め方について)						
2	ビブリオバトルとは何か						
3	本の探索方法(図書館実習)						
4	ビブリオバトルの手始め①(自己紹介をしよう)						
5	ビブリオバトルの手始め②(自由に話してみよう)						
6	ビブリオバトルの手始め③(読みきかせをやってみよう)						
7	テーマを決めてビブリオバトル①						
8	テーマを決めてビブリオバトル②						
9	テーマを決めてビブリオバトル③						
10	様々なビブリオバトルをみてみよう						
11	ビブリオバトルを企画しよう①						
12	ビブリオバトルを企画しよう②						
13	ビブリオバトルを企画しよう③						
14	ビブリオバトル開催						
15	まとめ、意見交換会						
成績評価方法							
授業内のワークシート 40%							
受講生間での意見交換やビブリオバトルの企画・実施への積極的な参加等 60%							
ただし、遅刻や欠席などの受験資格を満たしていない場合は評価の対象としません。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
ビブリオバトルハンドブック		ビブリオバトル普及委員会		子どもの未来社		9784864121002	
ビブリオバトルを楽しもう		谷口忠大／監修		さ・ら・え書房		9784378022260	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
・ビブリオバトルで自分が紹介する本は幅広いジャンルから選んでください。本の世界を楽しむ気持ちで！							
・ビブリオバトルで紹介する本は必ず事前に読んで、どのように紹介するか、みんなにわかってもらえるよう考えてきてください。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
講義前後に教室にて直接質問ください。講義時間以外は、基本的に在学していないので、隙をみて気軽に話しかけて下さい。							

授業科目名		生命倫理学				科目コード	E1007
担当者		海谷 則之				履修区分	必修
開講年次	1 年	開 講 期	後期	授 業 回 数	15 回	単 位 数	2
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標							
(概 要)科学技術(医療技術)の急速な進歩は物質的豊かさと便利さをもたらしている反面、環境破壊や地球温暖化、社会の高齢化、少子化、人間関係の希薄化、社会格差など新たな問題を生み出している。1970 年代中頃から「生命倫理学」が提唱されるようになり、とくに個々人の権利(自己決定権)と幸福の追求が主張されるようになった。つまり生活(生命)の「量」よりも生活(生命)の「質」(QOL)を重視することが幸福につながると考えるようになった。たとえば末期がん患者にとってはつらい治療をつづけるよりも、残り少ない一日一日をよろこび感謝しながら生きることのほうが幸せだとされた。 また、学校や家庭においてもいじめや虐待や自殺にかかわるようなばあいは、子どもの不登校をすすめたり、警察に連絡して子どもを保護し、子どもの命と生活を最優先させることも考えられている。とくに今コロナ禍とロシアのウクライナ侵攻によって世界的な経済危機やエネルギー危機がおとずれているが、これからどう生きていったらよいかという生活不安が大きな問題となっている。今日では多くの国と地域において日常生活のあり方が量的にも質的にも問われており、だれもが「どう生きるべきか」というが生命倫理の考え方が重要になっている。							
(到 達 目 標)講義では「幸せになるための教育・保育」について考えたい。具体的には、こころの病やハンセン病、戦争、医の倫理、企業倫理、臓器移植、体外受精、中絶、死刑、尊厳死、終末期医療などをテーマに、生きる意味と真に幸せな生き方について根本から考える。悲しいことに、最近では子どもばかりでなく、教師の自殺や教師に対するいじめや不適切保育が問題になっているが、相手に対する思いやり(慈愛)と温もりのある人間関係がいつそう求められていると言えよう。授業を通じて、人権尊重の精神と生命倫理学の考え方を学んでもらいたい。拙著『自己を知り、大悲を知る』も参照してほしい。 授業では、生命倫理の問題を具体的に考えてもらうために、毎回、最初にビデオをみてもらい、そのあとビデオについてコメントし講義を行う。なお感想文の提出については、用紙表面全体を使って感動したことを詳しく書いてほしい。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
毎回、講義内容を記載したプリントを配布するので、見ながら受講すること。保存しておくとうい。							
欠席者のために次回にもプリントを配布するので、授業後に申し出てください。							
授業スケジュール							
回数	講 義 内 容						
1	伝統的倫理学と生命倫理学 …「清輝君のいじめ自殺と家族」						
2	人格はどのようにつくられるか …「多重人格の少女ヒロ」						
3	ハンセン病と人権 …「絶対隔離政策の誤り」						
4	生命への畏敬 …「焼場に立つ少年」						
5	戦争といのち …「七三一部隊の人体実験」						
6	医療事故の背景にあるもの …「なぜ真相を伝えなかったか」						
7	看護と救急医療のあり方 …「札幌麻生脳神経外科病院」						
8	犯罪者と償い …「死刑囚 島秋人」						
9	企業の倫理を問う … 水俣病院長 細川一(はじめ)の葛藤」						
10	障害者の生きざまに学ぶ …「難病 ALS 患者のメッセージ」						
11	脳死と臓器移植 …「移植コーディネーターの役割」						
12	体外受精と生殖ビジネス …「精子バンクの実態」						
13	正岡子規の死生観 …「正岡子規」						
14	安楽死と尊厳死 …「依頼された死」						
15	幸せのための教育・保育 …「中村久子の人生」						
成 績 評 価 方 法							
毎回のビデオ感想文では、授業への参加度と理解度を評価する(40%)。最後のレポートは、指定された本を読んで原稿用紙 10 枚にまとめて提出する(60%)。感想文とレポートで総合評価する。							
教 科 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBN コード	
自己を知り、大悲を知る		海谷則之		自照社		978-4-910494-17-3	
参 考 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBN コード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
授業中の私語や携帯電話、飲食、帽子着用は厳禁。帽子着用については適正な理由があれば許可する。							
教員との連絡方法							
質問や要望は授業の後で受けつける。							

授業科目名		心理学				科目コード	E12106
担当者		今井裕介				履修区分	選択
開講年次	1年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)							
心理学の基礎的な知識や理論、心理学の歴史、最新の知見等幅広く概説する。 自己理解、他者理解に必要な理論的知識について説明する。							
(到達目標)							
心理学の基礎的な知識や理論を習得する。 自己を理解すること、他者を理解することの理論・知識を習得する。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
講義内で課題を出します。それについて発表を行っていただきます。 授業中の私語は禁止します。携帯電話の使用は禁止します。配布資料について、予備の配布は行いませんので、紛失した場合、欠席した場合等は、各自の責任において、他の学生からコピー等をしてもらってください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	オリエンテーション・心理学とは						
2	古典的条件づけについて						
3	オペラント条件付けについて						
4	感情について						
5	明るさと色の知覚・形と空間の知覚について						
6	注意と記憶について						
7	自己と他者のかかわり						
8	パーソナリティの分類・影響						
9	パーソナリティの形成・発達						
10	臨床心理学について(精神分析療法・クライアント中心療法)						
11	行動療法・認知行動療法について						
12	発達について						
13	思春期・青年期・成人期・老年期について						
14	心と脳						
15	まとめ						
成績評価方法							
期末試験 100% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
心理学入門		板口典弘・相馬花恵		講談社		ISBN 978-4061548084	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
講義の内容に合わせ適宜紹介する							
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
心理学は一般的なイメージとは異なる学問です。初めて聞く用語等も多いことが想定されます。わからない場合、自ら調べたり、質問してください。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
講義時間以外には在学していないため、質問や相談等は講義前後の空き時間や振り返りシートを活用してください。							

授業科目名		人体のしくみとケア論				科目コード	E1008
担当者		矢野 美紀／村木 士郎／深堀美紀子				履修区分	選択
開講年次	1	開講期	前期	授業回数	15	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 人間のからだのしくみを、活動する・呼吸する、食べるなどの生活との関連において理解し、ケアの対象者の全体像を把握するための視点をもつことを目的とする。							
(到達目標) ・人体のしくみについて、生活との関連において理解する。 ・健康レベルの変化によって日常生活でみられる代表的な症状や徴候について理解する。 ・自分自身や身近な人の健康に関心を持つことができる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
資料は講義時に配布します。予備の配布は行いませんので、無断欠席や紛失の場合は各自の責任において対応してください。提出物は期限を厳守してください。授業中の私語・携帯電話の使用は認めません。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	ガイダンス、人体の構造、細胞と組織					矢野 美紀	
2	器官と器官系					矢野 美紀	
3	内分泌系のしくみとその主な疾患のケア					矢野 美紀	
4	泌尿器系のしくみとその主な疾患のケア					矢野 美紀	
5	生殖器系のしくみと妊娠・出産					矢野 美紀	
6	循環器系及び血液のしくみとその主な疾患のケア					深堀 美紀子	
7	消化器系のしくみとその主な疾患のケア					深堀 美紀子	
8	感覚器系のしくみとその主な疾患のケア					深堀 美紀子	
9	運動器(骨格系・筋系)のしくみとその主な疾患のケア					深堀 美紀子	
10	加齢に伴う生理的機能の変化とその主な疾患のケア					深堀 美紀子	
11	呼吸器のしくみとその主な疾患のケア					村木 士郎	
12	脳・神経系のしくみとその主な疾患のケア①					村木 士郎	
13	脳・神経系のしくみとその主な疾患のケア②					村木 士郎	
14	精神(心)の構造のはたらきとメンタルケア					村木 士郎	
15	乳幼児及び児童の精神疾患／障がいとそのケア					村木 士郎	
成績評価方法							
定期試験成績を 50%、各講義で行う小テスト及び提出物の成績を 50%として総合して評価する。ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
二訂版スクエア最新図説生物		吉里勝利 監修		第一学習社		878-4-8040-4744-7	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
メールを利用すること。							

授業科目名		経済学と医療				科目コード	E1009
担当者		鈴木 誠志				履修区分	選択
開講年次	1年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)							
我が国の医療制度について、経済学的な視点から概観する。医療サービスは、不確実性、外部性、情報の非対称等の特徴をもつため、市場メカニズムによる資源配分が不適切であると考えられている。そのため各国において政府による強い規制下におかれている。そこで、医療サービスは、どのような規制や制度が必要とされており、なぜ各国において医療制度に違いがあるか等の問題について経済学の視点から見ていく。							
(到達目標)							
医療に関する問題(例えば老人医療費急増の問題)を経済学の視点で捉え、考えることができる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業期間中に5回程度、小テストの実施やレポートを提出してもらいます。また、学期末に期末試験を実施します。評価は、これらを総合して行います。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	医療経済学とは何か						
2	市場取引の働きについて(1)-消費者均衡の理論-						
3	市場取引の働きについて(2)-生産者均衡の理論-						
4	市場均衡の理論						
5	経済厚生-消費者余剰と生産者余剰-						
6	不完全競争市場						
7	情報の非対称性						
8	日本の医療費						
9	日本の医療制度(1)-医療制度の歴史的変遷-						
10	日本の医療制度(2)-医療制度の国際比較-						
11	医療サービスの需要						
12	医療サービスの供給						
13	医療サービス市場						
14	診療報酬と薬価制度						
15	まとめ						
成績評価方法							
レポート60% 授業の提出物40%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
適宜プリント等を配布します。							
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
特になし							
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
講義では、丁寧な解説を心がけて、(多めに)板書しながら授業を進めていきます。板書したことをしっかりとノートにとり、復習することで、学んだ知識を理解し、身に付けることができます。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
鈴木 誠志 E-mail アドレス: jimu2@hcu.ac.jp							

授業科目名		社会と平和				科目コード	E12108
担当者		堀内 喜代美				履修区分	選択
開講年次	1 年	開講期	後期	授業回数	15 回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) グローバル化が進む現代社会ではヒト・モノ・カネ・情報が国境を越えて移動します。そうした状況下において民主的で平和な社会を実現・維持していくためにはどのような認識や行動が必要か。社会のグローバル化に関わる様々な問題の学びを通して、持続可能な発展に向けて求められる社会の在り方や行動について考えていきます。							
(到達目標) ・グローバル化社会が抱える課題を俯瞰的・客観的に捉えることができる。 ・様々な社会問題に関して背景を理解し、自分の意見を提示できる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
各授業回の内容理解に努め、それを踏まえた上で授業課題では自分なりの意見を発信してください。 授業課題作成時には、関連するニュース記事などにも目を向け、自分の考えを深めてください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	オリエンテーション						
2	グローバル化とコロナ禍 ―コロナ禍における信頼と国際協調―						
3	グローバル化と留学生 ―日本における留学生政策―						
4	グローバル化と外国人労働者 ―看護・介護分野の外国人の受入れ―						
5	異文化理解① ―日本人の異文化対応特性―						
6	異文化理解② ―異文化理解から多文化共生社会へ―						
7	SDGs を考える① ―SDGs の基礎知識―						
8	SDGs を考える② ―社会的拡大背景と取り組み事例―						
9	大学と社会① ―国際比較から見る日本の大学―						
10	大学と社会② ―大学の公共性: 大学は公共財か?―						
11	アメリカ社会と平和① ―BLM 運動から見る黒人差別問題―						
12	アメリカ社会と平和② ―日系移民の歴史―						
13	国内の人種差別問題 ―大学スポーツの外国人選手―						
14	多様性と社会の包摂 ―ダイバーシティとインクルージョン―						
15	民主主義社会と平和						
成績評価方法							
各授業回(第2回～第14回)で課す授業課題のリアクションペーパー(計65%)と最終レポート(35%)を総合的に評価する。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
移民と日本社会		永吉希久子		中公新書		978-4121025807	
アメリカの大学・ニッポンの大学		苅谷剛彦		中公新書ラクレ		978-4121504296	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
現代の日本や外国の社会において起こっている事件や現象についてのニュースを新聞等で読み、自分なりの考えを持つようにしてください。情報に対する感度を高めることは、多様性を受け入れる価値観を身につけることにも繋がります。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
メールで連絡を取ってください。メールアドレスは初回授業で提示します。							

授業科目名		国際協力論				科目コード	E1010
担当教員名		戸谷 敦子				科目区分	選択
開講時期	1 年	曜日・時限	後期	授業回数	15 回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)							
国際協力とは何か、講義では、その歴史、意義、構造や仕組みについて学び、国際協力に関する基礎的な知識を習得する。 また、日本がどのように国際社会に貢献してきたかを、教育分野を中心に実践事例を通して学んでいく。							
(到達目標)							
1. 国際協力の歴史、意義、構造やアクターなど基礎的知識を習得する。 2. 国際協力事業の様々な事例を研究し、国際社会に貢献しながら、日本自身の平和と繁栄を確かにする国際協力の取り組みについて理解する。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
国際協力についてレポート作成とプレゼンテーションを行う。 国際分野の記事・ニュースを意識して読み聞き、国際情勢について知るとともに、その問題解決についても考えを巡らせる。 講義内での私語は慎む、携帯電話は使用禁止。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	オリエンテーション(国際協力は何のために行うのか)						
2	主権国家と国際社会1						
3	主権国家と国際社会2						
4	国際協力の基礎的理論1						
5	国際協力の基礎的理論2						
6	国際協力の課題を知る1						
7	国際協力の課題を知る2						
8	国際協力の基本的な仕組み						
9	日本の国際協力1						
10	日本の国際協力2						
11	現状を知る1 (安全な水の確保)						
12	現状を知る2 (母子手帳の活用)						
13	現状を知る3 (初等教育の拡充)						
14	現状を知る4 (インフラの整備)						
15	まとめ						
成績評価方法							
プレゼンテーション 25%、レポート提出 25%、授業内でのワークシートなど 50% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
国際協力アクティブ・ラーニング		佐原隆幸・徳永達巳		弘文堂		978-4-335-55176-5	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
政府開発援助(ODA)白書：日本の国際協力 2022		外務省		外務省			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
「履修における注意事項」に留意して下さい。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
授業後に質問等受け付けます。							

授業科目名		社会と健康				科目コード	E12214
担当者		嶋本 文雄				履修区分	選択
開講年次	1 年	開講期	前期	授業回数	15 回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 我々生き物(ひと)は、時代とともに環境に即した世界(社会)に生きてきた。その社会で生きていくには、健康と何かを常に考え行動しなければいけない。							
(到達目標) それぞれの個人がめざしている人生で、自分の健康をいかに維持していくが重要な点であるかを理解し、それが社会に貢献できるかを学ぶ。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	はじめに ヒトと食べ物						
2	生活習慣とは						
3	生活習慣病とは						
4	食欲の暴走						
5	健康寿命						
6	現代の生活環境と健康危機						
7	峰群崩壊症候群						
8	疾病の発生と予後、メタボリックドミノ						
9	生活習慣病の疫学特性						
10	疾病予防の考え方						
11	健康づくりのための指針とガイドライン						
12	皮下脂肪と内臓脂肪の違いは						
13	「健康日本 21」の目標						
14	生活習慣病の背景						
15	まとめ；						
成績評価方法							
各講義終了後の小テスト 20%、期末の最終試験 80%の割合で評価します。なお試験資格は 15 回の講義で、出席は、10 回以上は必須。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
プリントを配布							
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
生活習慣病の科学		中尾一和 編		京都大学学術出版会		ISBN978-8140-0050-0c0 047	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
日常生活で我々の環境と健康のつながりについて関心をもって、新聞、書籍などを読む習慣を身につける。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
在室中は、いつでも訪問可。							

授業科目名		比較文化論				科目コード	E1011
担当教員名		戸谷 敦子				科目区分	選択
開講時期	1 年	曜日・時限	前期	授業回数	15 回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)							
本講義は、異文化理解、多文化共生の観点から学習を進めます。グローバル化の進展により、人やものの国境を越えた動きが増え、それにともない文化の違いが際立つ現象も増えています。国際性は海外に赴く人のみならず、「内なる国際化」として身近な職場や地域でも求められる資質であり、異文化を背景にもつ子どもの増加する保育や教育の現場でも必要とされています。異文化を理解し、自文化を伝え、共生するためにはどのような知識、意識、行動が必要なのかを考え、学んでいきます。							
(到達目標)							
1. 異文化理解、多文化共生に関する理論的枠組みを学ぶ。							
2. 異文化理解、多文化共生に関わる様々な事例を学習し、国際的な視野と認識を深める。異文化環境、多文化環境における他者理解や自己表現について学び考える。							
3. 紛争予防や平和構築の理論を援用し、平和的な共生のために必要な知・情・動とは何なのかについて考える。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
異文化体験の有無、文化の捉え方など、講義で隣に座る学生同士もまた「異文化」的要素をもっているのではないのでしょうか。講義を「豊かに」するために、お互いの意見を出し合い、講義に積極的に参加して下さい。但し、私語は慎むこと。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	異文化理解とは(多文化とは)						
2	文化とは①氷山モデルを使ったグループ討議						
3	文化とは②方言モデルを使ったグループ討議						
4	異文化適応						
5	平和理論						
6	違いに気付く						
7	異文化感受性発達モデル						
8	異文化の認識、(固定観念、ファイリング、ステレオタイプ)						
9	世界の多様な価値観						
10	異文化トレーニング						
11	異文化受容						
12	自分を知る						
13	非言語コミュニケーション						
14	アサーティブ・コミュニケーション						
15	まとめ						
成績評価方法							
プレゼンテーション 25%、レポート提出 25%、授業内でのワークシート 50% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
異文化理解入門		原沢 伊都夫		研究社		978-4-327-37734-2	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
異文化理解		青木 保		岩波新書		4-00-430740-6	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
日々の生活を異文化理解や多文化共生の視点で見直して下さい。講義の期間中は異文化理解に関わる新聞記事やニュースを意識的に読み聞き、自分の意見や疑問点等考えをめぐらすことを習慣にして下さい。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
授業後に質問等受け付けます。							

授業科目名	メディアと人間文化					科目コード	E1012
担当者	瀧口 美絵					履修区分	選択
開講年次	1年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 授業では、新聞・広告・動画・静止画などを取り上げ、実際にメディアがどのように用いられているのか、どのような現実がそこには生み出されているのかを読みとるとともに、様々なメディアを用いて表現する活動を行う。 (到達目標) 私たちは現在、様々なメディアに触れ、また、活用しながら生活している。このようなメディア環境は、どのように発生し、どのように展開してきたのだろうか。本講義では、様々なメディアを取り上げながら、メディアをとりまく人間文化の有様について学ぶことを目的としている。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
講義資料を整理するためのファイルを用意してください。配布資料について、予備の配布は行いませんので、紛失等した場合は、各自の責任において、他の学生からコピー等をしてもらってください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	ガイダンス、メディアをめぐる今日の状況						
2	メディア・リテラシーについて						
3	文字メディアをめぐる文化						
4	ラジオというメディアコミュニティ						
5	静止画の分析						
6	動画をめぐる人間文化：テレビ・映画						
7	広告の分析 1 新聞・雑誌						
8	広告の分析 2 CM						
9	広告制作						
10	マスコミュニケーションの理論と展開 1						
11	マスコミュニケーションの理論と展開 2						
12	電子メディアネットワークがもたらす市民社会						
13	新聞メディアのリテラシー						
14	新聞作成 1						
15	新聞作成 2						
成績評価方法							
講義ごとに提出するコメント・カードの内容 10%、提出物 30%、期末試験 60%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
講義では、適宜資料を配布します。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							

授業科目名		人間と環境				科目コード	E1013
担当者		渡邊 真彦				履修区分	選択
開講年次	1年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)産業革命以来我々の生活は便利かつ豊かになった一方、環境への影響は長年輕視されてきた。近年生じている大気汚染、水質汚染、騒音、振動、植物など生物の分布、景観、有害化学物質、ハイク汚染などの環境諸問題は人類が得た快適さと引き替えに生じた影響の具体例といえよう。 この講義では過去から現在に至る種々の事例から、人がどのように環境に向き合ってきたのかを述べ、今後の展望について考察する。							
(到達目標)この講義では生活環境、地域環境、地球環境等様々な環境にみられる現象について述べ、各種環境問題に対する認識と考察を深める事を目的とする。また、未来を担う知性あふれる社会人にとって必要とされる人間と環境の関わり合いについて理解することも目的とする。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	環境とは何か						
2	人類の発展と環境						
3	環境問題の歴史						
4	公害とは						
5	水圏と大気圏の環境と生物圏との関係						
6	大気汚染の事例とその対策						
7	水質汚濁、土壌汚染とその対策						
8	震動、騒音および電磁波による影響と対策						
9	枯渇性資源と再生可能エネルギー						
10	廃棄物の処分とリサイクル						
11	環境の経済的価値						
12	環境倫理						
13	環境関連の国内法律と国際条約						
14	環境アセスメントと環境管理システム						
15	未来の環境と人の心						
成績評価方法							
授業への参加:20%、レポート50%、ディスカッション:30%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
適宜プリント等を配布する							
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
地球・環境・人間		石弘之		岩波書店		978-4000074643	
気象と地球の環境科学		二宮洸三		オーム社		978-4274201851	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
集中講義ですので予習や復習に十分な時間がとれませんので、受講を希望する学生は普段から新聞記事やインターネット等を利用して環境関連の予備知識を蓄えておいて下さい。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
質問等は講義時間内や講義間の休み時間を利用して受け付けます。							

授業科目名		生涯学習論				科目コード	E1124
担当者		國貞 智子				履修区分	選択
開講年次	1 年	開講期	前期	授業回数	15 回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)							
本科目では、日常生活のなかで見聞きする「生涯学習」のイメージから離れて、生涯学習をめぐる国際機関および各国の政策、日本における社会教育の歴史と現状、人々の多様な学習活動の諸相について幅広く講義し、社会教育の観点から生涯学習の全体像を理解することを目指します。							
これをきっかけにして受講者は、「生涯学習」という観点から自分自身の大学での学び、人生を通じての学びに対する指針について考えてもらいたいと思います。							
(到達目標)							
生涯学習社会とはどのような社会か、また社会教育とは何か理解し、それについて他者に説明できる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業中の私語は禁止です。その他、他の受講生に迷惑のかかる行為は禁止です。							
一成人として、マナーを守り、受講して下さい。また、に発言を求める機会もあります。積極的にご参加ください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	ガイダンス						
2	社会教育の原理						
3	国際社会における生涯教育の登場とその背景						
4	日本における社会教育の歴史						
5	日本における生涯学習の受容と展開						
6	社会教育施設と生涯学習社会(1)						
7	社会教育施設と生涯学習社会(2)						
8	地域における学習活動の実際と支援者の役割 ～公民館編～						
9	地域における学習活動の実際と支援者の役割 ～博物館編～						
10	地域における学習活動の実際と支援者の役割 ～図書館編～						
11	電子図書館の出現と生涯学習社会						
12	生涯各期の学習課題 ～乳幼児期、少年期～						
13	生涯各期の学習課題 ～青年期、成人期、高齢期～						
14	生涯学習社会における学校教育						
15	生涯学習社会の今後の方向性と課題						
成績評価方法							
学期末レポート 50%、課題（授業期間中 3 回を予定）30%、授業参加度 20%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
配布資料による。							
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
適宜紹介							
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
15 回の講義を通じて、人が生涯学び続けることの大切さを学んでいただきたいと思います。							
復習する際は、その授業の内容を自分自身の言葉で説明できるかを基準にしてみてください。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
E-mail:koge021@yahoo.co.jp よりご連絡ください。1 日以上返信がなかった場合、再度お送りください。							
大学名、学籍番号、氏名の記入をよろしくお願い致します。							

授業科目名		ライフマネジメント				科目コード	E1125
担当者		富田 道子				履修区分	選択
開講年次	1年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)							
生活経営に求められる「共生・多様性」視点の育成をめざす。							
具体的には、ジェンダー、セクシュアリティ、ライフコースなどを題材に、性と生の多面的な課題に重点をおいて授業を進める。							
(到達目標)							
性と生の現実を目に向け、持続可能な社会生活を送るために必要な力を身につける。							
(1)性を科学的視点から捉えることができる。							
(2)性をジェンダー視点、社会的・文化的視点から捉えることができる。							
(3)他者との関係を築くことの重要性を理解できる。							
(4)人生の主体者として自らを捉えることができる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
スマートフォンは出さないなど、最低限のルールを守って下さい。							
毎回の授業で小レポートを課します。							
課題提出にあたっては、締め切り日時を厳守のこと。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	オリエンテーション ライフマネジメントとしての性(成人年齢と性的自立を中心に)						
2	性の多様性についての概説ー性分化・性自認・性的指向ー						
3	男女平等からジェンダー・セクシュアリティ平等へー性的マイノリティをめぐってー						
4	男女平等からジェンダー・セクシュアリティ平等へー人との関わりを考えるー						
5	生殖の機能とからだの成熟①						
6	生殖の機能とからだの成熟②						
7	からだ・人権とSDGsー海外の事例から考えるー						
8	産む・産まれる						
9	産めない①						
10	産めない②						
11	性と人権をめぐる課題ーリプロダクティブ・バイアスの視点からー						
12	性と人権をめぐる課題ーハラスメントを中心にー						
13	性と人権をめぐる課題ーDV・デートDVを中心にー						
14	近い将来を見据えてー子どもを育て、支援する視点に立つー						
15	新たな関係性の探求を						
成績評価方法							
毎回提出する振り返りシート 70%、レポート試験 30%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
ヒューマン・セクソロジー 改訂新版		狛潤一、佐藤明子他		子どもの未来社		978-4864121767	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
配布された資料はその日のうちに復習し、しっかりファイル・保管をすること。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
第1回の授業で説明します。							

授業科目名		英語 IA(読解中心)				科目コード	E1014a
担 当 者		西本 純子				履 修 区 分	必修
開 講 年 次	1 年	開 講 期	前期	授 業 回 数	15 回	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標							
(概 要)							
技能（読む、書く、聞く、話す）を改めて基本から復習して、吸収した知識と情報を基にして自己の考えを発信できるように学習します。言い古されていることですが、獲得した情報を吟味し自分の意見にまとめて、他者に伝えることができるようになるには、かなりの練習が必要です。インプットにとどまらず、アウトプットできるようになる過程に重点を置いて授業を進めていきます。							
(到 達 目 標)							
正確に情報を読み取り、まずはその内容を英語で要約することです。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
必ず、学習予定の内容を確認して、新しい語彙は調べ、わからない点はメモして、授業中に解決できるようにしてください。もちろん、不明な点は、随時質問を受け付けます。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講 義 内 容						
1	Unit 1 Welcome to the “Big Apple” 現在形						
2	Unit 1 Reading and Writing Exercises						
3	Unit 2 What’ s the Boss Like? 代名詞						
4	Unit 2 Reading and Writing Exercises						
5	Unit 3 Masa’ s First Day on the job 前置詞						
6	Unit 3 Reading and Writing Exercises						
7	Unit 4 Summer Fun 過去形						
8	Unit 4 Reading and Writing Exercises						
9	Unit 5 Hotel Guest Satisfaction 可算・不可算名詞						
10	Unit 5 Reading and Writing Exercises						
11	Unit 6 Brainstorming 進行形						
12	Unit 6 Reading and Writing Exercises						
13	Unit 7 Glad to Be of Service WH 疑問形						
14	Unit 7 Reading and Writing Exercises						
15	前期復習						
成 績 評 価 方 法							
授業中の積極的参加状況 10%、小テスト 20%、学期末試験 70%で総合的に評価します。							
授業中の携帯、スマートフォンの使用は減点対象となります。							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としません。							
教 科 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBNコード	
English Missions! Basic		Robert Hickling		金星堂		978-4-7647-4071-6	
参 考 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBNコード	
総合英語 Forest		石黒昭博		桐原書店		978-4-342-01045-3	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
予習は必須です。内容を把握して授業を受けると理解度が高まり、最終的には効率的に学習できます。							
授業中の質問に対して、「わかりません。」という発言は禁止です。間違ってもいいので教えてください。							
そのような積極的な態度こそ学習効果を上げ、さらに精神的な成長につながり視野も広がります。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							

授業科目名		英語ⅠA(読解中心)				科目コード	E1014b
担当者		豊島 桂子				履修区分	必修
開講年次	1年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要)							
1. 保育を学ぶ学生のために編集された教科書を用い、保育現場に関する英語表現を学習し、音読練習をする。							
2. 子どものための英語の歌を聞いたり、歌うことで、英語の音とリズムに親しむ。							
(到達目標)							
1. 新学期の出会い、家族紹介、登園、欠席連絡、遊び、昼食、着替え、病気、運動会等に必要な英語表現を理解する。							
2. 子どもの英語の歌を歌えるようになる。英語の音とリズムに慣れる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
1. 授業中に指示された課題に集中して取り組んでください。期限を過ぎた課題提出は減点になります。							
2. 授業中は飲食やスマホ等の私的使用、私語や長時間居眠り等の行為を禁止します。度重なる注意でも守れなかった場合は、マナー違反として、その日の授業を欠席とし、課題点をゼロ点とします。							
3. 配布プリントは、配布後、各自が責任をもって保管してください。予備の配布は原則行いません。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	授業説明 1-1 新学期						
2	1-2 園と人々の紹介	英語の歌	その1	アルファベットの歌			
3	2 登園	英語の歌	その2-1	寝ているの？			
4	3 室内遊び・欠席の連絡	英語の歌	その2-2	寝ているの？(輪唱)			
5	4 砂場で	英語の歌	その3	お誕生日おめでとう			
6	5 園庭で	英語の歌	その4-1	こげ、ボートを			
7	6 昼食	英語の歌	その4-2	こげ、ボートを(輪唱)			
8	7 着替え・お話	英語の歌	その5-1	ロンドン橋			
9	8 お昼寝	英語の歌	その5-2	ロンドン橋(輪唱)			
10	9 シャボン玉飛ばし	英語の歌	その6-1	メリーさんの羊			
11	10 病気の子ども	英語の歌	その6-2	メリーさんの羊			
12	11 運動会の準備	英語の歌	その7-1	ブラウンさんちの赤ちゃん			
13	12 運動会	英語の歌	その7-2	ブラウンさんちの赤ちゃん			
14	13 散歩	英語の歌	その7-3	ブラウンさんちの赤ちゃん			
15	復習(期末試験の説明と準備)						
成績評価方法							
期末試験 50% 課題提出 30% 授業内ワークシート 20%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
新・保育の英語		森田和子		三修社		978-4-384-33399-2 C1082	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
1. 疑問点や不安がある場合は、その都度質問して、問題を持ち越さず解消するようにしてください。							
2. 配布プリントはファイルして、試験説明の際、必要な情報がすぐに取り出せるように準備しておいてください。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
以下のメールアドレスに連絡してください。 VEP06202@nifty.com							

授業科目名		英語 I B(表現中心)				科目コード	E1015a
担当者		西本 純子				履修区分	必修
開講年次	1 年	開講期	後期	授業回数	15 回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 前期に続き、技能の向上に努めますが、短文の英文作成の練習から、接続詞を使って、詳しく自分の意見を述べられるように練習をしていきます。							
(到達目標) 一つのトピックについて、単文を組み合わせて、英語で説明できるようにしましょう。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
短文を作る練習を続け、聞き手にわかりやすい文章の組み立てを学びましょう。これは、英語に限らず、日本語でも同様です。常に聞き手を意識して、相手にわかりやすいように順番を考えて、自分の意見を述べる練習をしましょう。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	Unit 8 Socializing with Co-Workers 動名詞・不定詞						
2	Unit 8 Reading and Writing Exercises						
3	Unit 9 Vacation Sports 未来形						
4	Unit Reading and Writing Exercises						
5	Unit 10 Sports Talk 比較級・最上級						
6	Unit 10 Reading and Writing Exercises						
7	Unit 11 Tour Day 助動詞						
8	Unit 11 Reading and Writing Exercises						
9	Unit 12 Party Time! 現在完了形						
10	Unit 12Reading and Writing Exercises						
11	Unit 13 Office Meeting 関係詞						
12	Unit 13 Reading and Writing Exercises						
13	Unit 14 A Bit of History 受動態						
14	Unit 14 Reading and Writing Exercises						
15	後期復習						
成績評価方法							
授業中の積極的参加状況 10%、小テスト 20%、学期末試験 70%で総合的に評価します。 授業中の携帯、スマートフォンの使用は減点対象となります。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としません。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
English Missions! Basic		Robert Hickling		金星堂		978-4-7647-4071-6	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
総合英語 Forest		石黒昭博		桐原書店		978-4-342-01045-3	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
予習は必須です。内容を把握して授業を受けると理解度が高まり、最終的には効率的に学習できます。 授業中の質問に対して、「わかりません。」という発言は禁止です。間違ってもいいので教えてください。 そのような積極的な態度こそ学習効果を上げ、さらに精神的な成長につながり視野も広がります。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							

授業科目名		英語 I B(表現中心)				科目コード	E1015b
担当者		豊島 桂子				履修区分	必修
開講年次	1 年	開講期	後期	授業回数	15 回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要)							
1. 保育現場に必要な英語表現を学習し、音読、会話練習をする。							
2. 英語チャンツを復唱することで、英語の音とリズムに親しむ。							
(到達目標)							
1. 新学期の出会い、家族紹介、登園、欠席連絡、遊び、昼食、着替え、病気、運動会等に必要な指示や会話ができる。							
2. 英語チャンツを復唱できるようになる。英語の音とリズムに慣れる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
1. 授業中に指示された課題に集中して取り組んでください。期限を過ぎた課題提出は減点になります。							
2. 授業中は飲食やスマホ等の私的使用、私語や長時間居眠り等の行為を禁止します。度重なる注意でも守れなかった場合は、マナー違反として、その日の授業を欠席とし、課題点をゼロ点とします。							
3. 配布プリントは、配布後、各自が責任をもって保管してください。予備の配布は原則行いません。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	授業説明 1 入園の際の自己紹介 (p. 7)						
2	2 人物の表し方 (p. 13) チャンツ:三頭のクマ物語 (時間があれば)						
3	3 保育時間、登園の確認 (p. 8, 11)						
4	4 園舎の場所の表し方 (p.9)						
5	5 送り迎えの連絡、欠席連絡 8p. 12, 16)						
6	6 病気の症状を訴える (p. 17, 44, 45)						
7	7 室内遊びの指示、おもちゃの名称 (p. 15)						
8	8 外遊びの指示、遊具での遊び表現 (p. 19, 20, 21)						
9	9 ケンカやトラブルの処理 (p. 20, 23, 24)						
10	10 昼食と歯磨きの表現、食品名 (p. 31, 32, 33)						
11	11 持ち物や衣類に関する表現 (p. 35, 37, 39)						
12	12 着替え、トイレ、お昼寝に関する表現 (p. 35, 39, 40)						
13	13 運動会での表現 (p. 59, 60, 61)						
14	14 散歩に関する表現 (p. 63, 64, 65, 67)						
15	復習(期末試験の説明と準備)						
成績評価方法							
期末試験 50% 課題提出 30% 授業内ワークシート 20%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
新・保育の英語 (I Aと同じ)		森田和子		三修社		978-4-384-33399-2 C1082	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
1. 疑問点や不安がある場合は、その都度質問して、問題を持ち越さず解消するようにしてください。							
2. 配布プリントはファイルして、試験説明の際、必要な情報がすぐに取り出せるように準備しておいてください。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
以下のメールアドレスに連絡してください。 VEP06202@nifty.com							

授業科目名		英語ⅡA(読解中心)				科目コード	E1016a
担当者		西本 純子				履修区分	必修
開講年次	2年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) トピック別に必要な語彙を習得し、英語のコミュニケーション力の基礎を固めながら、言語が交わされる異文化の理解を深めていきます。日本人とは違う発想を理解し、違和感を持つのではなく多様な価値観が存在することを念頭に置いて、聞き手を説得できるように自己の考えを述べる練習をします。							
(到達目標) 各ユニットのダイアログを理解し、それを参考にして、与えられたテーマでスキットを作成します。会話練習をした上で、グループ毎に発表してもらいます。また、異文化の短い説明文の読解に慣れましょう。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
語彙と基本表現を確認して、スキットが作れるように、各ユニットのトピックを確認しておきます。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	Unit 1 May I help you? 困った人に話しかける						
2	Unit 1 Getting around in a foreign country 外国で歩きまわる						
3	Unit 2 What do you do on the weekend? 初対面の人と会話を続ける						
4	Unit 2 Tips for Keeping a Conversation Going 会話を続けるためのヒント						
5	Unit 3 That sounds interesting! ポジティブ／ネガティブな意見を述べる						
6	Unit 3 Juggling Preferences in a Group グループ内の好みを調整する						
7	Unit 4 I’ m not feeling well. 体調を伝える						
8	Unit 4 I Do Not Feel Well: What Do I Do? 体調がよくない:さあどうする?						
9	Unit 5 You shouldn’ t step there! 注意する						
10	Unit 5 Local Etiquette: Know Before You Go 現地のエチケット:行く前に知っておこう						
11	Unit 6 Why don’ t we buy potatoes, too? 提案する						
12	Unit 6 To Speak Up or to Hold Back? はっきり言うか、言うのを控えるか						
13	Unit 7 Would 5pm be convenient for you? スケジュールを調整する						
14	Unit 7 What Time Should I Be There? 何時に到着すればよいのか?						
15	前期復習 要点チェック						
成績評価方法							
授業中の積極的な参加状況 10%、スキットの発表 20%、期末試験 70%で総合的に判断します。 授業中の不要な携帯電話の使用は減点対象となります。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
グローバル人材をめざす大学生の英語スキル&コミュニケーション		柴田真一 神藤理恵		金星堂		978-4-7647-4059-4	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
総合英語 Forest		石黒昭博		桐原書店		978-4-342-01045-3	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
予習は必須です。授業中わからないことがあれば、積極的に質問をして理解するように努めてください。 「わかりません」ではすまされない実社会での対応を身につけましょう。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							

授業科目名		英語ⅡA(読解中心)				科目コード	E1016b
担当者		豊島 桂子				履修区分	必修
開講年次	2年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要)							
1. 保育科学生が保育園で実習を経験し成長していくことを想定した教科書を用いて英語表現を学習し、音読練習をする。							
2. 子どものための英語の歌を聞いたり、歌うことで、英語の音とリズムに親しむ。							
(到達目標)							
1. 実習準備、事前訪問、こどもとの出会い、おでかけ散歩、水遊び等に必要な英語表現を理解する。							
2. 子どもの英語の歌を歌えるようになる。英語の音とリズムに慣れる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
1. 授業中に指示された課題に集中して取り組んでください。期限を過ぎた課題提出は減点になります。							
2. 授業中は飲食やスマホ等の私的使用、私語や長時間居眠り等の行為を禁止します。度重なる注意でも守れなかった場合は、マナー違反として、その日の授業を欠席とし、課題点をゼロ点とします。							
3. 配布プリントは、配布後、各自が責任をもって保管してください。予備の配布は原則行いません。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	授業説明 Chapter 1-1 園のパンフレット、エミの履歴書を読む						
2	Chapter 1-2 エミの自己紹介 Jazz Chants 1 私は誰？						
3	Chapter 1-3 主任の太田先生に出会う Jazz Chants 2-1 ヨーヨーの唄						
4	Chapter 1-4 エミの日誌：オリエンテーション Jazz Chants 2-2 ヨーヨーの唄						
5	Chapter 2-1 遊具室の用具、アナとの出会い 手遊び歌 1-1 親指ちゃんはどこ？						
6	Chapter 2-2 鉄棒で、アナと自己紹介 手遊び歌 1-2 親指ちゃんはどこ？						
7	Chapter 2-3 エミの日誌：実習初日 Jazz Chants 3-1 ネコは好き？						
8	Chapter 3-1 周辺地図を読む、散歩準備 Jazz Chants 3-2 ネコは好き？						
9	Chapter 3-2 公園に行く途中 手遊び歌 2-1 キラキラ星						
10	Chapter 3-3 エミの日誌：子供の世界 手遊び歌 2-2 キラキラ星						
11	Chapter 4-1 水遊びの用具、水遊び 1 Jazz Chants 4 私を見て						
12	Chapter 4-2 水遊び 2 Jazz Chants 5-1 彼は何をしているの？						
13	Chapter 4-3 エミの日誌：水遊び Jazz Chants 5-2 彼は何をしているの？						
14	Chapter 5-1 ホットケーキのレシピ						
15	復習(期末試験の説明と準備)						
成績評価方法							
期末試験 50％ 課題提出 30％ 授業内ワークシート 20％							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
Children's Garden (保育英語)		赤松直子		成美堂		978-4-7919-1095-3	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
1. 疑問点や不安がある場合は、その都度質問して、問題を持ち越さず解消するようにしてください。							
2. 配布プリントはファイルして、試験説明の際、必要な情報がすぐに取り出せるように準備しておいてください。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
以下のメールアドレスに連絡してください。 VEP06202@nifty.com							

授業科目名		英語 IIB(表現中心)				科目コード	E1017a
担当者		西本 純子				履修区分	必修
開講年次	2年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 前期に引き続き、トピック別に、コミュニケーション力を高める練習をします。さらに、スキットを作成する際、各話し手の隠れたニュアンスを意識しながら会話文を完成させましょう。場合によっては、文法的には 100%正しくても、真意が伝わらない、あるいは、誤解されてしまうこともあり得ることを学習しましょう。							
(到達目標) ネイティブの自然な発音、イントネーションをお手本にしながら、発話の練習をしましょう。自己流の発音、イントネーションでは、リスニング力を伸ばす大きな妨げになりますので、恥ずかしがらずにまねて練習しましょう。また、読解の速読に挑戦しましょう。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
語彙と基本表現を確認して、スキットが作れるように、各ユニットのトピックを確認しておきます。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	Unit 8 I' ll have to pass. 依頼を断る						
2	Unit 8 Dealing with Diet Restrictions 食事制限に対処する						
3	Unit 9 I have an idea. 解決策を提案する／協働作業する						
4	Unit 9 The Importance of Being Proactive 積極的であることの大切さ						
5	Unit 10 Could you do me a favor? お願いする						
6	Unit 10 Two ways to ask: Directly vs. Indirectly 2通りの頼み方: 直接的か、間接的か						
7	Unit 11 I think you could explain this more. アドバイスをする						
8	Unit 11 Giving and Accepting Criticism in an effective way 批判を効果的に与える／受け入れる						
9	Unit 12 I don' t get what you mean. 発言を聞き返す						
10	Unit 12 But I still do not understand! それでもわからない！						
11	Unit 13 I' m so sorry to hear that. 相手を励ます						
12	Unit 13 Being a good winner … or loser よき勝者、または敗者であること						
13	Unit 14 That' s not what I meant. 誤解を解く／真意を伝える						
14	Unit 14 What should I get them? 何をあげたらよいのか？						
15	後期復習 要点チェック						
成績評価方法							
授業中の積極的な参加状況 10%、スキットの発表 20%、期末試験 70%で総合的に判断します。 授業中の不要な携帯電話の使用は減点対象となります。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
グローバル人材をめざす大学生の英語スキル&コミュニケーション		柴田真一 神藤理恵		金星堂		978-4-7647-4059-4	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
総合英語 Forest		石黒昭博		桐原書店		978-4-342-01045-3	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
予習は必須です。授業中わからないことがあれば、積極的に質問をして理解するように努めてください。 「わかりません」ではすまされない実社会での対応を身につけましょう。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							

授業科目名		英語ⅡB(表現中心)				科目コード	E1017b
担当者		豊島 桂子				履修区分	必修
開講年次	2年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要)							
1. 保育科学生が保育園で実習を経験する場面で必要な英語表現を学習し、音読と会話練習をする。							
2. 子どものための英語の歌を聞いたり、歌うことで、英語の音とリズムに親しむ。							
(到達目標)							
1. ホットケーキ作り、買い物、お話の読み聞かせ、スイカの観察、お誕生日会等に必要な英語表現を理解する。							
2. 子どもの英語の歌を歌えるようになる。英語の音とリズムに慣れる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
1. 授業中に指示された課題に集中して取り組んでください。期限を過ぎた課題提出は減点になります。							
2. 授業中は飲食やスマホ等の私的使用、私語や長時間居眠り等の行為を禁止します。度重なる注意でも守れなかった場合は、マナー違反として、その日の授業を欠席とし、課題点をゼロ点とします。							
3. 配布プリントは、配布後、各自が責任をもって保管してください。予備の配布は原則行いません。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	授業説明 Chapter 5-1 ホットケーキのレシピ			手遊び歌 3-1 桑の木を回ろう			
2	Chapter 5-2 ホットケーキ作り			手遊び歌 3-2 桑の木を回ろう			
3	Chapter 5-3 エミの日記:お菓子作り計画			なぞなぞ唄 ハンプティ ダンプティ			
4	Chapter 6-1 図書コーナーと読み聞かせ			遊び歌 4-1 ベッタン・ケーキ			
5	Chapter 6-2 お休みゴリラ君を読む			遊び歌 4-2 ベッタン・ケーキ			
6	Chapter 6-3 エミの日記:読み聞かせ			Jazz Chants 6-1 1月1日			
7	Chapter 7-1 四季の行事とスイカ			Jazz Chants 6-2 1月1日			
8	Chapter 7-2 スイカの観察			遊び歌 5-1 マクドナルドおじさんの農場			
9	Chapter 7-3 エミの日記:空想と現実			遊び歌 5-1 マクドナルドおじさんの農場			
10	Chapter 8-1 お誕生会準備、招待状						
11	Chapter 8-2 お誕生会			Jazz Chants 7 夕食に何が欲しい?			
12	Chapter 8-3 エミの日記:プレゼント			英語の歌その 1-1 楽しいクリスマス			
13	Chapter 9-1 子どもの遊びと発達			英語の歌その 1-2 楽しいクリスマス			
14	Chapter 9-2 ボール遊び			Jazz Chants 8 春夏秋冬			
15	復習(期末試験の説明と準備)						
成績評価方法							
期末試験 50% 課題提出 30% 授業内ワークシート 20%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
Children's Garden (保育英語)(ⅡAと同じ)		赤松直子		成美堂		978-4-7919-1095-3	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
1. 疑問点や不安がある場合は、その都度質問して、問題を持ち越さず解消するようにしてください。							
2. 配布プリントはファイルして、試験説明の際、必要な情報がすぐに取り出せるように準備しておいてください。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
以下のメールアドレスに連絡してください。 VEP06202@nifty.com							

授業科目名		英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン				科 目 コー ド	E1018
担 当 者		西 本 純 子				履 修 区 分	選 択
開 講 年 次	3 年	開 講 期	後 期	授 業 回 数	15	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標							
(概 要) 小学生の英語教育において、ゲームやソングなど通して、英語に対する興味を起こさせることが指導方法として有効であることは周知のことです。しかしながら、単なるお遊びに終始するのではなく、将来授業の場において、児童の潜在的な言語能力を無理なく伸ばせるような実践的な指導方法の習熟は、教師自らの英語コミュニケーション力の強化とともに常に求められることです。このような複合的な視点に立って、改めて英語教育の実践を確認していきます。							
(到 達 目 標) 小学生の学年毎に求められる英語コミュニケーションのレベルに沿って、基本的な語彙、発音、リスニング、そしてアクティビティー、すなわち、英語の発話の練習を行います。口頭練習に重点が置かれます。最終目標は、指導者として児童の皆さんの前で、楽しく、しかしながら、授業の要点をおさえて、適切な声の大きさとリズムで授業を進行させることができるようになることです。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
口頭練習が中心になりますので、発音、リズムは特に注意してください。教室内に適切に響き渡る声の大きさと速さは、各自確認してください。言語学習において、児童の皆さんに伝わらないということは絶対避けたいところです。 英語を発話することに慣れてください。この授業に沈黙はあり得ません。たくさん間違えて、口慣らしをしていきましょう。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講 義 内 容						
1	Unit 1: Hello! 表情豊かに、ジェスチャーをつけながら、自己紹介をする						
2	Unit 2: Numbers and colors ゲームやソングを利用して、英語の数字に慣れる						
3	Unit 3: Let's play! Let's move! 英語圏の子どもの遊びを、英語で楽しむ						
4	Unit 4: Quiz show 色や形など、わからないことを英語で質問し、あるいは、答える						
5	Unit 5: I like fruit. 好きな食べ物や嫌い食べ物について、友だちと伝え合う						
6	Unit 6: Reading a picture book 動物の特徴を伝える						
7	Unit 7: Do you have a pencil? 文房具の特徴を友だちと伝え合う						
8	Unit 8: What subject do you like? 好きな科目と嫌いな科目について説明する						
9	Unit 9: My favorite place 自分のお気に入りの場所を説明する						
10	Unit 10: Let's help our family! 家事を表す表現を学び、日常的に使えるようにする						
11	Unit 11: Let's celebrate! 行事の内容を紹介する						
12	Unit 12: She can skateboard. He can play the trumpet. 得意、不得意を伝える						
13	Unit 13: Ordering food at a restaurant 欲しいものを丁寧に伝える						
14	Unit 14: Welcome to Japan 日本文化の紹介						
15	プレゼンテーション						
成 績 評 価 方 法							
第 15 回目に、自分で選択したトピックについて、1 人ずつプレゼンテーションをします。これに対する評価が 80％です。早めにトピックを決めておくとういでしょう。原稿を書く段階で質問があれば対応します。要点をまとめて質問をしてください。 20％は、毎回の授業参加態度です。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教 科 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBN コード	
楽しく教える子ども英語		泉恵美子・多田玲子		朝日出版社		978-4-255-15689-7 C1082	
参 考 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBN コード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
必ず予習をして、わからないところをチェックして授業中に解決してください。授業中、授業終了後ともに、時間がある限り質問に対応します。遠慮なくお願いします。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
授業内、あるいは、教務課を通じて連絡してください。							

授業科目名		文章表現法				科目コード	E12132
担当者		瀧口 美絵				履修区分	選択
開講年次	1 年	開講期	前期	授業回数	15 回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)							
人間は言葉によって思考をおこない、言葉で心が深まり、自分の中の思いを見つめる。その言葉がつながり文章となる。ではよい文章とはどのような文章か。そのような根本的なことを常に意識しながら、よき日本語が使えるようになることを目標に、言葉とは何か日本語とは何か、その特質を発音・語彙・文法などについて英語との比較を通して学修するまた優れた日本語の文章を読み、実際に文章も書く。そのような実践的学修を通じて、言葉(日本語)に対しての自覚を持つことで、優れた文章表現を身につける。							
(到達目標)							
・レポート、小論文を簡潔に、書けるようになること。							
・文章で相手に伝える力を養うことを目的に、講義・演習(実際に書かせる)により、まとめ方(文章構成:文・段落・用語・図表の活用等 文章の作法:主題を明確にする 結束性のある文章等)を学習する。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
講義は演習形式のため、欠席をすると、その回の内容が身に付かないばかりか、次回からの内容が分からなくなりますので、欠席をしてはいけません。							
指定したファイルを毎時間必ず持参すること。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	ガイダンス 文脈にふさわしい語句を使う						
2	正しくわかりやすい文を書く(1)組立を正しく、5W1Hを落とさないでかく						
3	事実文と意見文の理解 意見を支える事実文の作成						
4	論証的意見文の構成を考える 事実を示す・意見を述べる・意見の正しさを論証する						
5	意見文を書くー事実と意見の違いを考えて書くー						
6	意見文相互批評・訂正版作成						
7	資料分析-グラフの読み取り						
8	正しくわかりやすい文を書く(2)長い文を短く区切る						
9	正しくわかりやすい文を書く(3)問題演習						
10	意見文 2 を書く一文の役割を考えて書くー						
11	意見文相互評価・訂正版作成						
12	敬語を正しくつかう						
13	通信文を書く						
14	要旨を書く						
15	まとめ						
成績評価方法							
意見文(2編)30%、授業への取り組み方 20%、最終試験結果 50%、の総合成績で基準を満たしたものについて正規の学業収めたと判定します。ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
講義で配布する資料を必ずファイルし、保管しておくこと。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
講義外の時間においては、メールにおいて対応します。							

授業科目名		中国語入門				科目コード	E12133
担 当 者		范 叔如				履 修 区 分	選択
開 講 年 次	1 年	開 講 期	前期	授 業 回 数	15 回	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標							
(概 要)							
中国語の発音及び基本的な文法事項を習得し、中国語の基礎学力を養成する。							
初歩的な文法を詳しく説明し、テープ・ビデオの利用により、発音をマスターする。							
(到 達 目 標)							
ローマ字による発音の方法やこつと簡単な会話が出来るように。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
積極的に授業に参加する事、必ずテキストを持つとノートを取る事、無断に欠席しない事。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講 義 内 容						
1	学習の概略説明と使用テキスト・辞書の紹介。中国・中国語についての簡単な説明						
2	発音 1 声調、単母音と複母音、練習課題						
3	発音 2 子音 ① 無気音と有気音と練習課題						
4	子音 ②そり舌音と練習課題						
5	発音3 鼻音を伴う母音と練習課題						
6	声調の組み合わせ、変調と簡単な挨拶表現と練習課題						
7	人称代名詞、動詞述語文、形容詞述語文、副詞と練習課題						
8	本文、会話と「聞く、書く、話す」と練習課題						
9	指示代名詞と疑問詞疑問文と練習課題						
10	反復疑問文 存在を表す“在”と練習課題						
11	本文、会話と「聞く、書く、話す」と練習課題						
12	動詞 “有” と連動式文 練習課題						
13	介詞 “在” と “几” と “多少” 練習課題						
14	本文、会話と「聞く、書く、話す」 練習課題						
15	総復習と練習テスト						
成 績 評 価 方 法							
毎回の練習課題 100%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない、							
教 科 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBNコード	
『友子の北京ライフ』		李志華・文南 著		白帝社		978-4-89174-905-7C3087	
参 考 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBNコード	
『はじめての中国語学習辞書』		相原茂編著		朝日出版社		9784255001135—C0587	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
1.テキスト中の cd を発音を聞く事。2.本文と文法を復習する事。3.宿題をしっかりと書く事。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
携帯電話 090-8065-4502							

授業科目名		韓国語入門				科目コード	E12134
担当者		李 賛任				履修区分	選択
開講年次	1 年	開講期	前期	授業回数	15 回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 韓国語を初めて学ぶ受講生を対象に、韓国語の文字であるハングルからスタートし、ハングルが読めて書けるようにする。韓国語で自己紹介、買い物、お店での注文ができるようにする。また、語学だけではなく視聴覚教材を用いて「現代韓国事情」及び韓国の文化にも触れ、日・韓の価値観・文化の違いについても考えてみる。							
(到達目標) 韓国語の文字である「ハングル」の読み・書きと簡単なコミュニケーションができるようになる。また、現在の韓国の文化や韓国人の考え方に触れることによって異文化に対する理解を深める。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
はじめて接する外国語なので毎回きちんと出席し、学習に臨むことが望ましい。「携帯電話禁止」、「授業中の私語禁止」							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	韓国語の概略、ハングルの構成						
2	母音文字						
3	母音・子音文字(1)						
4	母音・子音文字(2)						
5	終声子音(パッチム)						
6	発音規則及び簡単な表現						
7	挨拶表現						
8	基本文型「～は～です」、「～が～です」						
9	自己紹介の表現						
10	買い物の際に使われる表現						
11	DVD による韓国の文化紹介						
12	映画の中での実際の簡単な日常会話						
13	注文の際に使われる表現						
14	医療に関連する表現						
15	復習						
成績評価方法							
期末試験 40%、レポート 20%、授業内の参加及び授業態度 40% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
韓国語入門		朴大王・李賛任		白帝社		ISBN978-4-86398-130-0 C3887/2400E	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
ソウルスタイル		朴大王		白帝社		ISBN978-4-86398-129-4 C0026/1200E	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
「毎回の授業後、学習した内容を復習し、文字と単語をしっかりと暗記する」「習った語彙を生活の中で使ってみる」「K-POP の歌を覚えて韓国語で歌ってみる」「韓国のドラマを見ると、韓国語を意識しながら見る」							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							

授業科目名	スポーツ理論と実技					科目コード	E1019
担 当 者	山口 浩二					履 修 区 分	必修
開 講 年 次	1 年	開 講 期	通 年	授 業 回 数	30	単 位 数	2
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標							
(概 要)							
理論では、現代社会におけるスポーツや運動の必要性を、健康や体力、メタボリックシンドローム予防等について学ぶ。							
実技では、球技やニュースポーツ、その他の体力を高めるための身近な運動について理解を深め、安全に実践するための知識や技術について学ぶ。							
(到 達 目 標)							
運動やスポーツのルールと技能について、また自分自身が運動やスポーツを安全に実施するための方法を説明することができる。							
スポーツができるできないや好き嫌いにとらわれず、自分の持っている能力をいかして、スポーツそのものを楽しむ方法を説明できる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
講義では、毎回テーマを設定します。主体的に授業にのぞむよう私語やスマートフォン等の使用は禁止です。また、実技の場合は必ずジャージと体育館用シューズを着用し、積極的に参加してください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講 義 内 容			回数	講 義 内 容		
1	オリエンテーション:講義			16	スポーツと生理学		
2	運動とスポーツ:講義			17	トレーニング理論:講義		
3	体力測定評価①:実技			18	運動処方:講義		
4	体力測定評価②:実技			19	トレーニング実践:実技		
5	体力を高める運動①:実技			20	ネット型球技①:実技		
6	体力を高める運動②:実技			21	ネット型球技②:実技		
7	スポーツの分類:講義			22	ネット型球技③:実技		
8	ゴール型球技①:実技			23	ニュースポーツ①:実技		
9	ゴール型球技②:実技			24	ニュースポーツ②:実技		
10	ゴール型球技③:実技			25	ニュースポーツ③:実技		
11	スポーツと健康:講義			26	スポーツと栄養学		
12	運動やスポーツの必要性:講義			27	スポーツと安全:講義		
13	運動やスポーツへのかかわり方:講義			28	スポーツ障害・応急処置:講義		
14	運動やスポーツの効果:講義			29	現代生活におけるスポーツの意義:講義		
15	現代生活とスポーツ:講義			30	まとめ:講義		
成 績 評 価 方 法							
レポート 50%、実技試験・講義時のワークシート・課題レポート等 50%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教 科 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBN コード	
参 考 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBN コード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
自分の健康づくり、体力づくりにおいて、各自が目標を持って授業にのぞんでください。							
運動やスポーツが苦手な人も楽しさやルールを知ることができるよう頑張りましょう。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							

授業科目名		情報活用演習Ⅰ				科目コード	E1020
担当者		梶岡 寿満子				履修区分	必修
開講年次	1年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要)							
学生生活においてレポート作成・資料作成で必要とされる、基礎レベルの情報リテラシーを身につける。資料作成の基礎である、ワープロ・プレゼンテーションの基本技能を習得する。							
(到達目標)							
Windows の基本操作ができる。Word・PowerPoint の基本機能を使って、効率よくレポート作成や資料作成ができる。説明書を読んで基本操作ができる。ブラインドタッチがある程度できるようにする。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業中はスマートフォンや携帯電話の使用を禁止とするので、机上に置かないこと。 授業時間内にできなかった課題は、空き時間を使い、次の授業までに済ませておくこと。 欠席や遅刻をしないこと。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	ガイダンス、Windows の基本						
2	タイピング、クラウドについて						
3	文書の入力と保存						
4	Word による基本的な文書の作成						
5	Word による図の挿入						
6	Word による表の挿入						
7	Word による表現力をアップする機能						
8	第1回総合課題とまとめ						
9	Word による長文のレポートの編集						
10	PowerPoint による簡単なプレゼンテーションの作成						
11	PowerPoint によるオブジェクトの作成、						
12	PowerPoint による画面切り替え・アニメーション・印刷設定						
13	PowerPoint の演習						
14	Word の総合演習						
15	第2回総合課題とまとめ						
成績評価方法							
タイピング 10%、授業内課題・総合課題合わせて 60%、期末試験 30%とする。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
情報リテラシーアプリ編 ＜改訂版＞ Windows 10・Office 2016 対応		富士通エフ・オー・エム株式会社		FOM 出版		978-4-86510-347-2	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
なし							
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
空き時間に、ブラインドタッチの練習を行うこと。 空き時間を使って、復習をしておくこと。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
C-Learning の連絡を使ってメールを送ってください。							

授業科目名		情報活用演習Ⅱ				科目コード	E1021
担当者		梶岡 寿満子				履修区分	必修
開講年次	1年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要)							
学生生活において、資料作成・データ分析で必要とされる、表計算の基本技能を習得する。授業を通して、教員の仕事を支援する道具としての、パソコンを使いこなす能力を身につける。							
(到達目標)							
Excelの基本機能を使って、手際よく表作成ができる。説明書を読んで基本操作ができる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業中はスマートフォンや携帯電話の使用を禁止とするので、机上に置かないこと。 授業時間内にできなかった課題は、空き時間を使い、次の授業までに済ませておくこと。 欠席や遅刻をしないこと。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	ガイダンス、表計算ソフトとは						
2	Excelの基礎						
3	Excelの計算式(四則演算、基本の関数)						
4	Excelの書式設定						
5	Excelの表の編集、複数シートの操作						
6	Excelの印刷設定、グラフ作成その1						
7	Excelの基本グラフ作成その2						
8	Excelのデータベース機能						
9	Excelのテーブルの利用						
10	Excelの応用関数1						
11	Excelの応用関数2						
12	Excelの応用関数3						
13	Excelの条件付き書式						
14	Excelの演習						
15	Excelの総合まとめ						
成績評価方法							
タイピング 10%、授業内課題・総合課題合わせて 60%、期末試験 30%とする。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
情報リテラシーアプリ編 ＜改訂版＞ Windows 10・Office 2016 対応		富士通エフ・オー・エム株式会社		FOM 出版		978-4-86510-347-2	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
なし							
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
空き時間に、ブラインドタッチの練習を行うこと。 空き時間を利用して、復習を行うこと。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
C-Learning の連絡を使ってメールを送ってください。							

授業科目名		情報と倫理				科目コード	E1022
担当者		鶴根 弘行				履修区分	選択
開講年次	1年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 本講義では、情報ネットワークの役割と種類、インターネットを構成する要素と仕組み、WWW と電子メールの仕組みを適切に利用する観点、情報ネットワークのセキュリティと安全な利用の考え方などを学ぶ。加えて、情報を利用する立場および情報を発信する立場に立ったとき、どう行動するべきかを倫理学の観点から考え、情報社会の健全な発展に情報倫理が重要であることについて理解する。							
(到達目標) (1) 情報ネットワークの役割・種類・要素・仕組みについて知っている。 (2) 情報ネットワークのセキュリティ、安全な利用についての考え方を理解できている。 (3) 情報の収集と発信等に関わって、情報倫理に基づき、適切な利用ができる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
(1) 講義の中で出される課題については必ず提出すること。 (2) 配布資料について、予備の配布は行いませんので、紛失等した場合は、各自の責任において、他の学生からコピー等をしてもらってください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	情報通信社会とインターネット, 進化と変遷						
2	情報倫理とは・情報と社会						
3	インターネットを理解するための基礎知識: 前編(インターネットの仕組み)						
4	インターネットを理解するための基礎知識: 後編(進化するインターネット)						
5	コミュニケーションとメディアを理解する: 前編(コミュニケーション・メディア)						
6	コミュニケーションとメディアを理解する: 後編(Web・SNSコミュニケーション)						
7	情報セキュリティを理解する: 前編(情報セキュリティ対策)						
8	情報セキュリティを理解する: 中編(コンピューターウィルスへの対策)						
9	情報セキュリティを理解する: 後編(コンピューター犯罪への対策)						
10	著作権を理解する: 前編(知的財産権)						
11	著作権を理解する: 後編(インターネット上に公開されたコンテンツに関する著作権)						
12	ネットにおけるコミュニケーションとマナー: 前編(電子メールによる情報の発信・受信)						
13	ネットにおけるコミュニケーションとマナー: 後編(Webページによる情報の受信・発信)						
14	情報社会における生活						
15	教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン・まとめ						
成績評価方法							
最終まとめ作成60%, 課題レポート(授業内小テスト含む)40% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」(平成 29 年 10 月 18 日)		文部科学省		文部科学省			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
毎回の授業後、配布資料やノートを読みかえしてください。また専門用語の意味等を確かに理解できるように復習してください							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
une@sanyo.ac.jp 宛てに電子メールでご連絡ください。メールの件名の先頭に「情報と倫理」をつけ加えてください。							

授業科目名		統計解析入門				科目コード	E1023
担当者		戸谷 敦子				履修区分	選択
開講年次	1 年	開講期	後期	授業回数	15 回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)							
統計学の知識や手法を身につけることは、社会調査など各種の分析結果を読み解き、また自らの研究テーマを科学的に検証する上で重要です。履修者は講義とコンピューターを使った演習を通して、数理統計学の基礎的知識とスキルを身につけていきます。							
(到達目標)							
1. 記述統計(度数分布、散布度、平均・分散、相関係数など)を習得する。							
2. 様々な統計解析手法について学ぶ。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
1. 統計解析を理解するには数学的な知識が必要です。履修者は高校数学(Σを使った数列の計算など)を復習してから履修に望んで下さい。							
2. 学習内容の定着を図るため、毎時間、提出課題を課します。							
3. 履修の仕上げとして、報告書の作成・プレゼンテーションを行います。各自が興味のあるテーマを決め、文献調査、データ収集、データ分析、分析結果の報告を行ってもらいます。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	オリエンテーション、データ入力						
2	度数分布表						
3	ヒストグラム						
4	ヒストグラム(応用)						
5	平均値、中央値、最頻値						
6	尖度、歪度						
7	分散、標準偏差						
8	相関係数						
9	順位相関						
10	単回帰分析						
11	重回帰分析						
12	差の検定①						
13	差の検定②						
14	分散の差の検定						
15	講義のまとめ、プレゼンテーション						
成績評価方法							
プレゼンテーション 25%、レポート提出 25%、授業内ワーク 50%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
できるやさしく学ぶ Excel 統計入門		羽山 博		インプレス		978-4-8443-3731-7	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
日頃から、ニュース、新聞記事などメディアを通して身の周りにある各種の統計情報に注意を払い、データを読み取る訓練をして下さい。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
授業後に質問等受け付けます。							